

●山形市医師会在宅医療・介護連携室ポピー 事業実績

令和元年度（2019年度）

（事業目的）在宅医療・介護の連携推進業務は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。

事業項目（仕様書～）/目標	計画	評価と今後
<p>① 在宅医療・介護関係者の研修 /多職種連携の推進と地域多職種の スキルアップ</p>	<p>◆主催（もしくは主に企画）（691人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援 概論編（大竹まり子氏）127人/実践編（徳田喜恵子）102人</li> <li>・在宅医療・介護推進フォーラム（人とつながりながら自分で決める・はじめよう自分らしく生きるための人生会議：紅谷浩之氏、実践報告者5人）271人</li> <li>・介護保険研修会（医療と介護の連携を考える：パネリスト奥山慎一郎氏ほか5名）191人</li> </ul> <p>◆共催・合同（203人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅ケア研究会と合同2回（4月高橋邦之医師56名、1月渡辺章医師32名）</li> <li>・済生館と合同（病院と地域が協働して考える意思決定支援）72人</li> <li>・県PSW協会と共催（高齢分野と精神保健福祉分野の連携を考える）43人</li> </ul> <p>◆出張勉強会（地域の居住系施設及び訪問系事業所対象）（336人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策7か所113人</li> <li>・認知症4か所67人</li> <li>・服薬支援3か所62人</li> <li>・リハビリ1か所9人</li> <li>・看取り（徳田 講師担当）5か所85人</li> </ul> <p>◆交流会159人</p>	<p>研修894人 出張勉強会336人 交流会159人</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">参加者数合計 1389人</p> <p>評価として 活用度別紙添付</p>

<p>① 相談窓口 /在宅医療ニーズと連携の調整</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談対応数 178 件（前年比+55 件）</li> <li>・個別地域ケア会議や同行訪問等での助言と調整 11 回</li> <li>・スキルアップのための職員受講（在宅医療連合学会、在宅医療インティグレーター等）</li> </ul>	<p>医療につなぐ場合も、個別の複雑な状況に対する調整を図っている→事例集予定</p>
<p>② 医療・介護サービス資源の把握 /支援者の迅速な資源へのアクセス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療情報検索システム更新手順検討段階</li> <li>・3市相談窓口パンフレット更新（市と協働）→村山保健所に移行</li> </ul>	<p>次年度作業開始</p>
<p>③ 住民普及啓発 /自分らしく地域で最期までの住民理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域包括支援センター等の協力で<b>住民講座</b>の講師担当（鹿野）</li> <li>・ACP「人生会議」—最後まで自分らしく生きるために—5 か所・121 名</li> <li>◆地域包括支援センターと共催での<b>住民講座</b>（包括南沼原との共催・テーマ：ロコモ予防）9月4日「みんなでやろう。膝腰体操」50名</li> </ul>	<p>住民参加者数 合計 171 名 次年度は「介護予防と介護への備え」も予定</p>
<p>④ 課題抽出と対応の協議 /医療・介護連携 4 つの局面の中～ 焦点化</p> <p>※4 つの局面</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入退院支援</li> <li>2. 日常の療養支援（精神含む）</li> <li>3. 急変時の対応</li> <li>4. 看取り</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆<b>在宅医療</b></li> <li>・医師間情報交換の場設定 9月25日拡大運営会議（在宅医療部理事、在宅療養支援診療所医師+α）にて、在宅医負担軽減のための、看取り当番等につき意見交換ができた。</li> <li>・市の在宅療養普及啓発事業へ協力</li> <li>・在宅療養継続を可能にするレスパイト機能充実について課題提起を受け、情報交換等3回開催し、レスパイト資源（主にショートステイ）の組織化につき、基幹型包括とともに開始中</li> <li>◆<b>入退院支援</b></li> <li>・市と協働し、フローの実践評価やバージョンアップ、ホームページ改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大運営会議 医師 22 名参加 活発な意見交換となった。継続が必要</li> <li>・レスパイト資源の組織化につき、コロナ関連収</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>•病院から包括への退院時情報提供について課題あり。現状をアンケート調査実施し、市内全包括へ報告を発信した。</li> <li>◆<b>精神領域</b> 上記研修欄参照</li> <li>◆<b>連携</b>・2月研修上記開催（医療と介護の連携を考えるパネルディスカッション）</li> </ul>	<p>束時再開予定</p> <p>次年度継続</p>
<p>⑤ 医療・介護連携情報共有の支援 /ポピーねっとやまがたの普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•登録45事業所、232人</li> <li>•活用の在り方について検討中</li> </ul>	<p>次年度登録者等 での情報交換会 予定</p>
<p>⑥ その他必要な事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•<b>運営会議</b> 5～6回/年 5月28日、9月25日（拡大）、11月26日、2月28日（2月はコロナ影響でメール会議に変更） 9月25日拡大運営会議（在宅医療部理事、在宅療養支援診療所医師+α）医師22名</li> <li>•各種連携会議等で在宅医療・介護に関する情報を発信</li> <li>•受講：職員スキルアップ</li> <li>•講師：在宅医療・ケアの推進（ケアマネジャー実務研修にて、医療・介護連携担当）</li> <li>•ホームページからの情報発信</li> <li>•パンフレット増刷</li> <li>•医師会事務局との打ち合わせ 10月、2月実施</li> <li>•委託元山形市との打ち合わせ 各事業ごと随時実施</li> </ul>	